

明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第43号 平成19年9月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



金華山学習プログラムワークショップ

- ・金華山の魅力の洗い出し 第1回ワークショップ (6月29日)
- ・金華山学習プログラムの方向性 第2回ワークショップ (8月22日)

○金華山の魅力の洗い出し 第1回ワークショップ

6月29日(金)に金華山学習プログラムの策定にむけたワークショップが始まりました。金華山には多くの自然環境の学ぶ価値のある要素があります。第1回ワークショップでは、その一つ一つを洗い出しながら、どの情報を市民に対して伝えていくのがよいのか意見交換を行いました。

その中で、情報をとりまとめるにあたっては次のような意見が出されました。

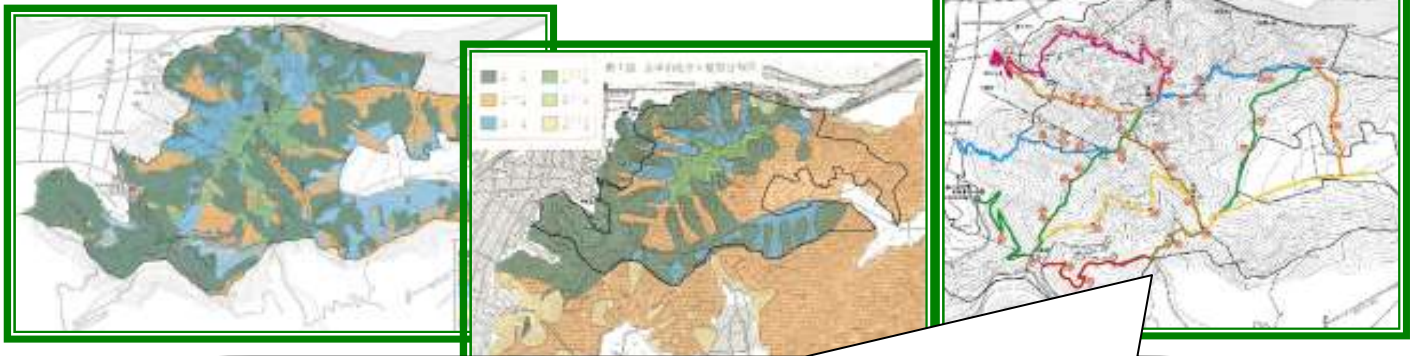
- ・出された情報を「**種類別**」に分けて、情報をまとめてみる(希少生物、自然、歴史・文化、景観など)
- ・登山道別に情報をまとめ上げ、**ルート毎の学習プログラム**の検討する(主要なルートを優先的に)
- ・**登山者自身の位置**がわかるように、目標・目印と情報を併記すればわかりやすい。



日頃から金華山を見つめている
方々からたくさんの視点を頂きました



植生、景観、倒木などからも
様々なことを学ぶ事ができる
という意見がありました



金華山の植生について、過去の状態と現在の状態を比較しても興味深い変化が見られます。また、金華山の登山道を歩いているときに、自分自身がどこを歩いているのかわかるような目印を表示するのも有効との意見もありました。

○金華山学習プログラムの方向性 第2回ワークショップ

8月22日(水)には、第1回ワークショップで出された意見を確認しながら、プログラムの方向性を確認していきました。

大きな方向性としては、「登山者が自分の歩いている状況を確認しながら、金華山の事を楽しく学べるようなものにしたい」ということでした。ここで参考になるのは、「長良川の生物」(昭和32年発行：岐阜県)にまとめられている**各ルート別の植生を紹介した文章**でした。

このように文章で記録しておく、それぞれのルートの特徴を把握できるとともに、過去の植生と比較することができるという利点があります。

また、ホームページによる情報発信においては、**GISを使った、位置情報とリンクした情報の発信の有効性**についても意見が出されました。



日々金華山を見つめている皆さんから多くの視点が出されていきました。

○おわりに

2回のワークショップで、金華山学習プログラムの方向性が徐々に明らかになってきました。今後は金華山の情報を収集し、それらを如何に子どもたちや岐阜市民、多くの登山者たちに伝えていくのかにかかってきます。金華山に関わる多くの市民、団体の皆様に支えられながら、よりわかりやすく、利用価値の高い金華山学習プログラムの検討を進めてまいります。



外から見た金華山の姿も、学習プログラムとして取り組む要素になるのでは・・・

岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 自然環境室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 (内線：6452) FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

自然環境室 HP アドレス：<http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html>